

こんにちは

会社訪問記

破碎リサイクルシステムを活用して、
木くず、建設廃材を優れた土壌改良剤に。

株式会社鈴鍵

(愛知県豊田市)

木くず、建設廃材の中間処理を精力的に行われている株式会社鈴鍵。豊田市の本社にお伺いし、独自のリサイクルシステムの内容、会社概要等について梅村専務にお話をさせていただきました。

—まず、事業内容を教えていただけませんか。

梅村専務 (以下梅村に略)
『当社はそもそもの事業内容は木材業が中心でしたが、現在は立木伐採業・山林管理・土木用資材製造販売・破碎リサイクルシステムを担当する工事部と、造園工事・土木工事・緑化種子吹付・イメージアップフラワーを担当する造園土木部、産業廃棄物収集運搬・木くずと建設廃材の中間処理を手がける環境事業部の3部門に分かれています。』



梅村専務

—何をきっかけに産業廃棄物処理業の許可を取得されたのですか。

梅村『先程も申し上げましたように、かつては素材生産を中心に木を伐採して建築材などの材料をついていたのですが、近年のゴルフ場建設や工場の造成等による大規模山林伐採が行われるにあたり、製材よりも工事・造園土木の仕事が増大してまいりました。これらの工事等から出る物の処理がだんだん難しくなってきたこと、出た物はできるかぎり自然還元していくというのが私どもの基本スタイルでしたので、より良い処理を行うには産業廃棄物処理業の許可を取得するに限ると考えたのがきっかけです。』

—破碎による中間処理を熱心に行われているということですが。

梅村『当社の行っているのは、木くずと建設廃材の破碎によるリサイクルです。造成現場に破碎機を持ち込み、木くずや建設廃材を細かく破碎し、土壌改



社内

良剤に転換させるものです。もちろん良い物は建築材やチップ材に分別を行っています。焼却は一切行わないことを前提に、トータルに機械を現場に持ち込んで処理し有機肥料化するこのリサイクルシステムを、いま特許申請している最中です。どんな大きな根株でも破碎し、石や砂が入っていても大丈夫、移動式で便利、工期短縮を実現します。焼却しないので火災の心配も住民の方々からの苦情もないし、現場で破碎するので減容化もできます。現在、多方面からこのリサイクルシステムのお問い合わせをいただいています。』

—では、今後の事業展望をお聞かせください。

梅村『今後も、自分たちの仕事を通して廃棄物の資源化・有効利用やリサイクルを行っていきたいと考えております。とにかく、廃棄物がその場から無くなればいい、という処理方法ではいずれ行き詰まると思います。環境保全を念頭に置いた対応を行い、リサイクルを推進することが展望です。また、当社のリサイクルシステムは独占事業を目指すために開発したのではなく、より資源の有効利用ができるよう願ってつくられたものです。もし、いっしょにやってみたいと言われる方がいらっしゃれば、情報提供をする用意もあります。このシステムが全国的に普及することによって、少しでもお役に立てれば幸いです。』



社名/株式会社鈴鍵 所在地/愛知県豊田市中全町塚ノ本111番地3
代表者/鈴木宮子 創業/昭和34年 従業員/65名
TEL/0565(41)2003 事業所/本社、豊田営業所
営業種別/収集運搬、中間処理 取扱ひ品目/廃プラスチック類、木くず、
ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材